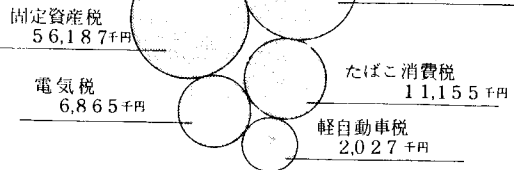


村有財産のようす

土地	134,189 m <sup>2</sup>
施設用地	76,841 m <sup>2</sup>
道路	57,348 m <sup>2</sup>
建物	13,183 m <sup>2</sup>
基金	3,670万円
財政調整基金	1,100万円
うち 減債基金	200万円
土地開発基金	2,370万円
出資金	98万3千円

村税 1億1,552万円



# 昭和55年度の村の家計簿は このような状況でした

## —昭和55年度 月潟村一般会計収支決算状況—

歳入 10億3,435万6千円) 差引1,650万8千円の黒字でした。  
歳出 10億1,884万8千円

引き続き経済不況下にある今日、本村の財政もまた厳しい運営をせまられています。限られた財源の中でより大きな成果が得られるよう努力してまいります。

ここに昭和五十五年度の財政事情を公表します。

### 歳入

歳入総額は十億三、四三五万六千円で昨年度に比べ一六・五%の伸びでした。主な内訳は、地方交付税が三億九、七七八万六千円、国庫支出金一億七、二九四万五千円、村債一億六、九四〇万円となっており、全体の七一・五%を占めています。又自主財源である村税は一億一、五五二万円で一・二%、一・二%の伸びを示しています。

### 歳出

総額十億一、八八四万八千円となり一六・七%の伸びを示しています。使い途の主な内訳は、その使われたお金の性質別に分けると、人件費二億三、九七七千円、物件費一億三、〇三万六千円、建設事業費三億四、四四〇万四千円となっています。特に運動広場用地造成モデル事業等の運営事業費は三七・四%の伸びとなっています。

### ◆用語説明◆

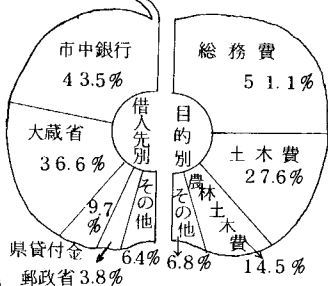
#### 「地方交付税とは？」

村税などが少なく、事務に要する経費を自主財産で賄えない地方公共団体(県・市町村)でも一定の水準の事務が行われるように国が交付する財源をいいます。

#### 「村債とは？」

村が大きな事業を実施するとき、国などから資金を借り入れ、これを十年〜二十年くらいの長期にわたり返済する資金をいいます。

#### 村債現在高 5億8,627万8千円

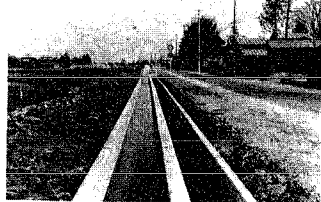


#### 主な建設工事

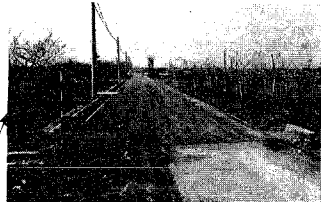
事業名	事業費
公共用地先行取得事業	121,676千円
村道整備事業	51,109
農村総合整備モデル事業	65,808
中学校使所改修	7,790
地盤沈下対策事業	7,364
消防自動車購入事業	7,055
防火水槽建設事業	4,591
浄水場敷地購入事業	4,420
除雪グレーダー購入事業	8,115



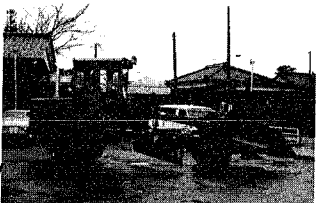
運動広場用地



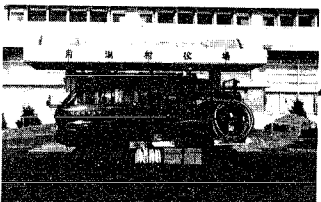
宅地排水路(西貨場内)



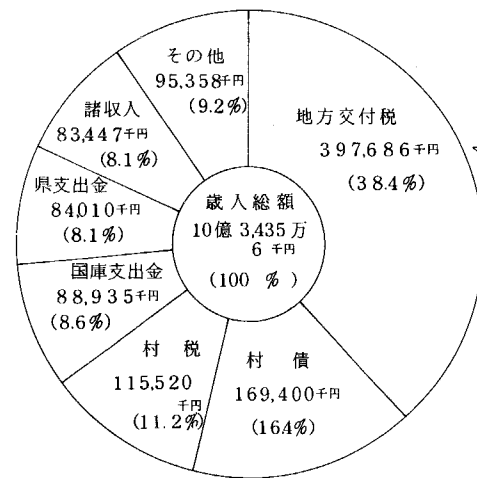
村道4号線(大別当地内)



除雪グレーダー



消防自動車



歳出総額 10億1,884万8千円

総務費 241,337千円

農林水産業費 192,864千円

民生費 107,914千円

教育費 107,759千円

土木費 96,953千円

商工費 79,217千円

公債費 62,581千円

消防費 43,330千円

衛生費 40,691千円

議会費 31,716千円

諸支出金 14,486千円

納めた村税 29,750円

村民1人当たり

使われたお金 262,387円